

クラウドコンピューティング時代における
大容量ネットワーク向け、不正侵入検知・防御システム
「SecureSoft Sniper IPS 10G」を2月25日（金）より取扱い開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：浅田和則、以下キヤノンITS）は、クラウドコンピューティング時代における大容量ネットワーク向け、不正侵入検知・防御システム「SecureSoft Sniper IPS 10G」を2月25日（金）より取扱い開始します。



写真「SecureSoft Sniper IPS 10G」

クラウドコンピューティングにおける大容量ネットワーク向けの不正アクセス対策を、高速かつ安全に提供するためには、より高パフォーマンスな不正侵入検知・防御システムが重要となります。「SecureSoft Sniper IPS 10G」を導入することでより高パフォーマンスな不正アクセス対策を実現できます。

■高いスループットを維持する高速処理

独自開発ドライバーによる高速パケット処理により、業界最速クラスの20Gbpsのスループットを実現。64byteや128byteなどのショートパケットでも高いスループットを維持します。

■大容量ネットワーク向け不正アクセス対策に最適

SecureSoft SniperIPS 10Gは、大容量ネットワーク向けに10ギガビットのインターフェースを搭載した製品で、大容量ネットワーク向けの不正アクセス対策として、容易に導入することができます。また、複数の不正侵入検知・防御システムで運用している環境を、SecureSoft Sniper IPS 10Gに統合することにより、運用コストを削減することができます。

| 製品名 | 希望小売価格（税別） |
|---------------------------|------------|
| SecureSoft Sniper IPS 10G | 3200万円 |

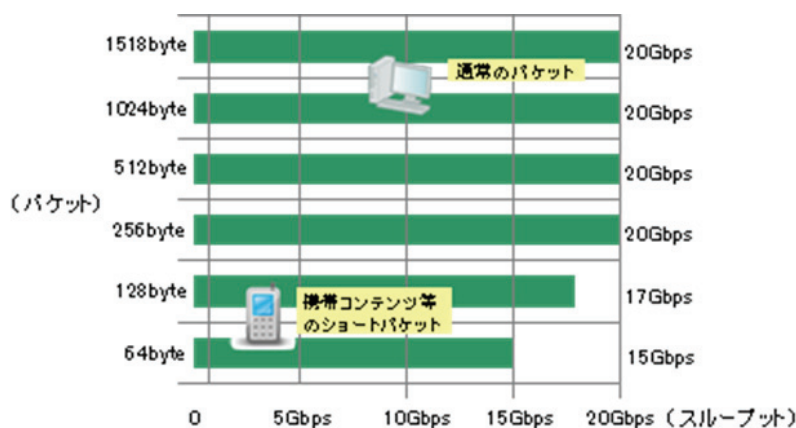
- 報道関係者のお問い合わせ先：総合企画部 コーポレートコミュニケーション課 03-5730-7108
- 一般の方のお問い合わせ先：セキュリティソリューション事業部 03-5730-7155
- キヤノンITSホームページ：<http://canon-its.jp/product/ips/>

<SecureSoft Sniper IPS 10Gの主な特長>

■高いスループットを維持する高速処理

独自開発ドライバーによる高速パケット処理により、業界最速クラスの20Gbpsのスループットを実現。携帯電話向けのコンテンツの64byteや128byteのショートパケットの処理は、帯域が大きくなるほど、パケット数が増え、処理する量も増加します。SecureSoft Sniper IPS 10Gは、64byteのショートパケットで、15Gbpsのスループットを維持し、128byteのショートパケットでは、17Gbpsのスループットを維持します。256byte以上のパケットサイズでは、20Gbpsのスループットを維持することを立証しました。(※1)

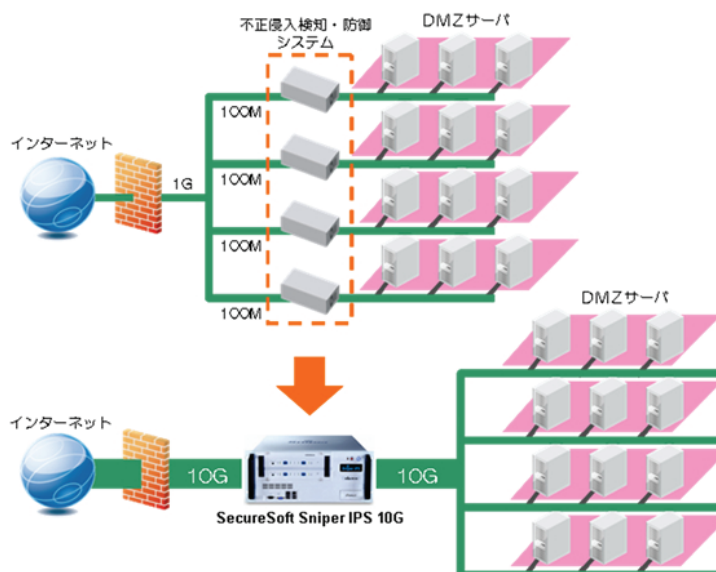
(※1) セキュアソフト社調べ



SecureSoft Sniper IPS 10Gのスループット (セキュアソフト社調べ)

■大容量ネットワーク向け不正アクセス対策に最適

SecureSoft Sniper IPS 10Gは、大容量ネットワーク向けに10ギガビットのインターフェースを搭載した製品で、大容量ネットワーク向けの不正アクセス対策として、容易に導入することができます。また、複数のネットワーク毎に不正侵入検知・防御システムで運用している環境を、SecureSoft Sniper IPS 10Gに統合することにより、監視対象や運用コストを削減することができます。



10Gネットワークへの見直しとともにSecureSoft Sniper IPS 10Gで統合し運用コストの削減

■高い不正アクセス検知率

SecureSoft Sniper IPS 10Gは、有害なトラフィック、ハッキング、ワームなどのネットワーク脅威をリアルタイムで検知・防御することが可能です。また、外部からの不正アクセス対策はもちろん、設置方法によっては、内部からのウイルス感染元の追跡や、P2P技術を用いたファイル交換ソフトの使用を検知することができます。

■管理用サーバーが不要

SecureSoft Sniper IPS 10Gは、高性能なCPUを搭載し、検知・防御処理と管理機能を1つの筐体で提供しているため、管理用のサーバーを別途設置する必要がなく容易に導入することができます。導入や保守、アップデートにかかる費用を削減することができます。

■運用が容易

検出したイベントは日本語対応の管理画面でわかりやすく表示されます。SecureSoft Sniper IPS 10Gは、選択した項目を全て1つの画面に表示するマルチ画面表示が可能です。また、検出したイベントをワンクリックすることで検知・防御などのルールを直接修正できるなど、簡単な操作で運用することができます。

<SecureSoft Sniper IPS 10G 販売情報>

SecureSoft Sniper IPS 10G (ハードウェア+ソフトウェア)

| 製品名 | 希望小売価格 (税別) |
|--|-------------|
| SecureSoft Sniper IPS-10G ハードウェア+ライセンス1式 | 32,000,000円 |

SecureSoft Sniper IPS 10G 保守サービス (年間)

| 製品名 | 希望小売価格 (税別) |
|--|-------------|
| SecureSoft Sniper IPS-10G ソフトウェア保守 ^(※1) | 4,800,000円 |
| SecureSoft Sniper IPS-10G ハードウェアセンドバック保守 ^(※2) | 1,600,000円 |
| SecureSoft Sniper IPS-10G ハードウェアオンサイト標準保守 | 3,200,000円 |
| SecureSoft Sniper IPS-10G ハードウェアオンサイト拡張保守 | 5,600,000円 |

(※1) ソフトウェア保守は、初年度より必須です。

(※2) ハードウェアセンドバック保守の初年度分は、SecureSoft Sniper IPS 10G本体価格に含まれます。

・保守サービスの対象期間は、製品ご購入後5年間となります。

■ SecureSoft Sniper IPS 10G保守内容

- ・ソフトウェア保守
 - シグネチャパターンファイルのアップデート権利
 - ソフトウェアバージョンアップ版の提供
 - TEL/E-Mailによるソフトウェアに関する質問受付 (平日9:00-17:00)
- ・ハードウェアセンドバック保守
 - ハードウェア故障時に代替交換機を配送
 - TEL/E-Mailによる受付 (平日9:00-17:00)

※障害切り分け作業は含まれていません

- ・ハードウェアオンサイト標準保守
 - 障害切り分け、現地へ訪問し代替交換機の設置・設定・稼動確認
 - TELによる受付（平日9:00-17:00）

- ・ハードウェアオンサイト拡張保守
 - 障害切り分け、現地へ訪問し代替交換機の設置・設定・稼動確認
 - TELによる受付（24時間365日）

<SecureSoft Sniper IPS 10G 製品仕様>

| 製品名 | SecureSoft Sniper IPS 10G |
|-----------|---|
| スループット | 20Gbps |
| 最大セッション数 | 5,000,000 |
| インターフェース | Fiber(10GBASE-LR/ER/SR)×4（監視/防御用）， 10/100/1000Base-T×2（管理/HA用） |
| バイパスユニット | 内蔵 |
| 寸法（H×W×D） | 200×430×512 mm |
| 電源リダンダント | ○ |
| ファンリダンダント | ○ |

※SecureSoft Sniper IPSは、株式会社セキュアソフトの商標です。

※その他記載の製品名および社名は各社の商標です。

※仕様は予告なく変更する場合があります。